

2021年度(2022年3月期) 決算説明資料(IFRS)

IHI

2022年5月10日

株式会社 IHI



目次

1. 2021年度 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	11
連結財政状態計算書.....	12
連結キャッシュ・フロー計算書.....	13
補足資料.....	14
2. 2022年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	17
報告セグメント別内訳.....	18
連結キャッシュ・フロー 通期見通し.....	21
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	23
社会基盤・海洋.....	25
産業システム・汎用機械.....	27
航空・宇宙・防衛.....	29
<参考資料>.....	31

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

IHI

1. 2021年度 連結決算

- 営業利益は、「プロジェクトChange」に掲げた各種施策の着実な実行により業績見通しを達成。
- 車両過給機において、半導体不足等による生産調整からの回復の遅れに加え、中国でのロックダウンの影響が顕在化し始めているものの、全体として、資源・エネルギー・環境、社会基盤・海洋、産業システム・汎用機械の3セグメントは堅調に推移。
- 航空・宇宙・防衛では、第4四半期として航空需要の回復基調は変わらず、民間向け航空エンジンのスペアパーツ販売は概ね想定どおり進捗。
- 入金促進や棚卸資産圧縮などの運転資本削減の取り組みにより、営業キャッシュ・フローは、大幅な収入超過。

1. 2021年度 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

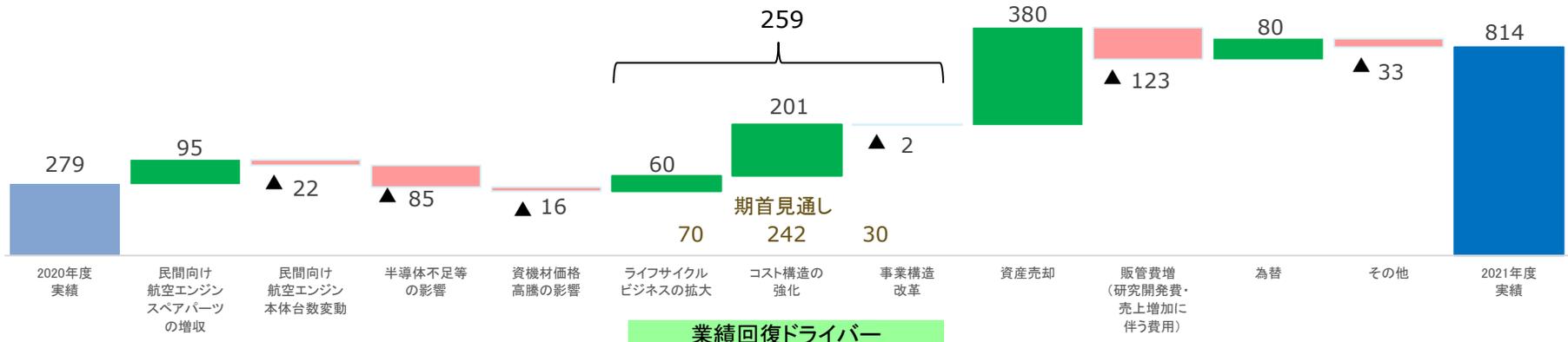
(億円)

	'20年度	'21年度	増減
受注高	10,970	11,900 / 12,612	712 / 1,642
売上収益	11,129	11,900 / 11,729	▲170 / 599
営業利益	279	800 / 814	14 / 535
税引前当期利益	276	700 / 876	176 / 600
親会社の所有者に 帰属する当期利益	130	400 / 660	260 / 529

数表左上数値：2022年2月8日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

売上平均レート(米ドル) '20年度 106.40円, '21年度 112.68円

業績回復ドライバーの実績



1. 2021年度 連結決算 報告セグメント別内訳(連結受注高・連結受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'20年度	'21年度	増減	'20年度末	'21年度末	増減
資源・エネルギー・環境	2,747	3,400 3,738	338 990	4,823	5,275	452
社会基盤・海洋	1,661	1,600 1,810	210 149	2,264	2,500	236
産業システム・汎用機械	3,652	4,000 3,845	▲154 193	1,753	1,807	54
航空・宇宙・防衛	2,689	2,800 3,047	247 357	2,485	2,838	352
報告セグメント計	10,750	11,800 12,441	641 1,691	11,326	12,421	1,095
その他	707	547	▲159	323	228	▲95
調整額	▲487	▲376	110	-	-	-
合計	10,970	11,900 12,612	712 1,642	11,650	12,650	999
海外受注高・受注残高	3,679	5,118	1,439	3,132	3,423	290
海外受注高・受注残高比率	34%	41%	7%	27%	27%	0%

1. 2021年度 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

IHI

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'20年度	'21年度	増減	'20年度	'21年度	増減
資源・エネルギー・環境	3,176	3,500 3,444	▲55 267	191	230 229	0 38
社会基盤・海洋	1,579	1,700 1,673	▲26 93	171	150 153	3 ▲17
産業システム・汎用機械	3,742	3,900 3,769	▲130 27	114	170 128	▲41 14
航空・宇宙・防衛	2,515	2,700 2,652	▲47 137	▲401	▲130 ▲93	36 308
報告セグメント計	11,014	11,800 11,540	▲259 526	75	420 418	▲1 342
その他	605	627	21	23	▲10	▲33
調整額	▲490	▲439	51	180	406	226
合計	11,129	11,900 11,729	▲170 599	279	800 814	14 535

海外売上収益	4,139	4,955	815
海外売上収益比率	37%	42%	5%

1. 2021年度 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前期比増減要因)

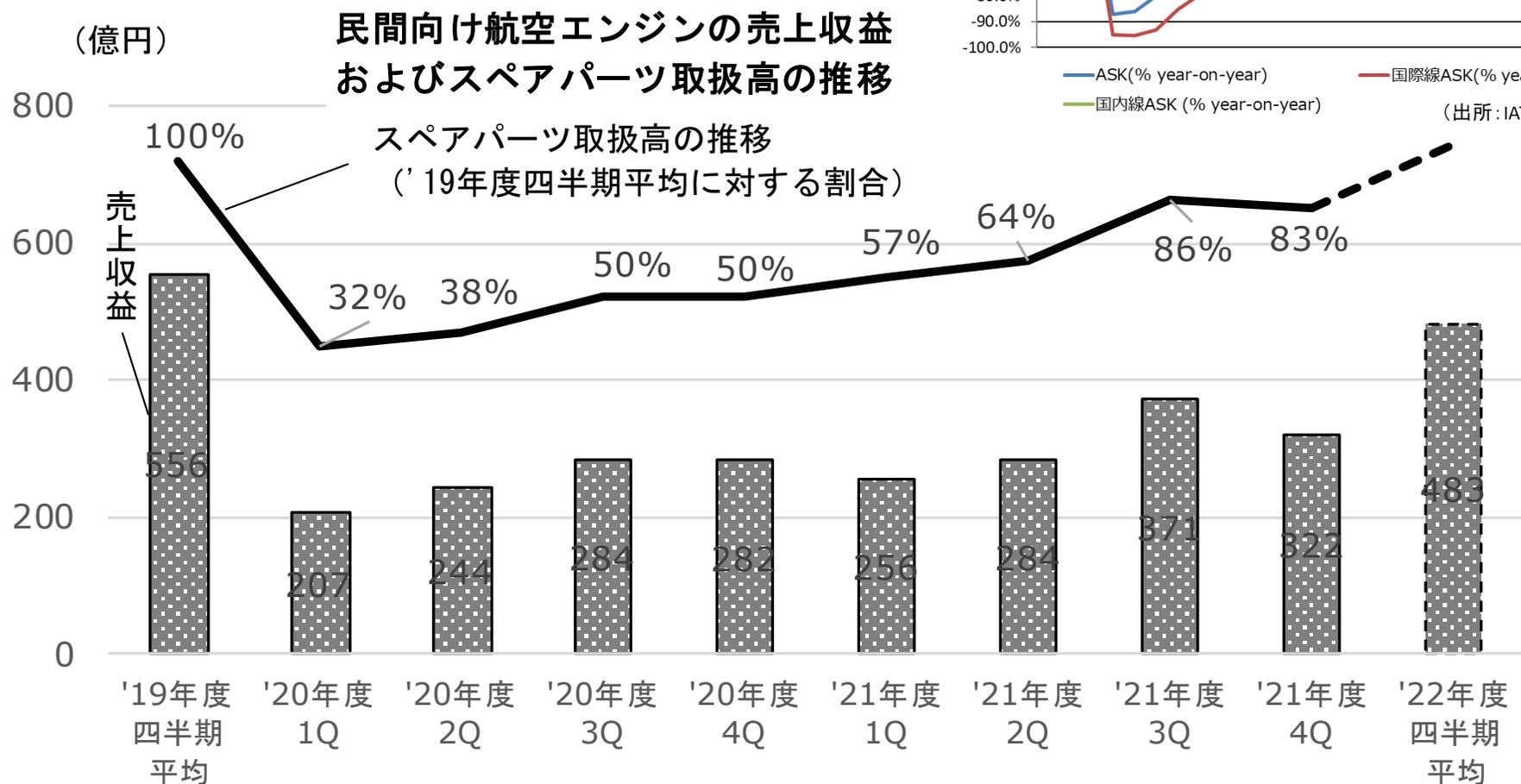
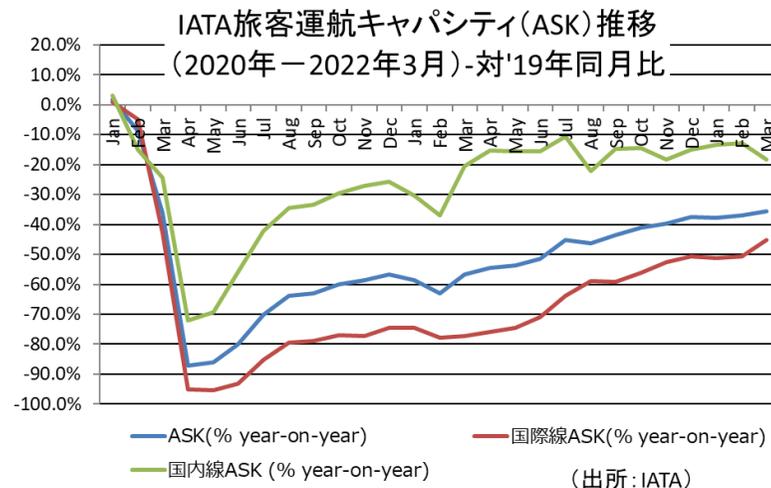
(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	▲10	33	11	▲1	5	38
社会基盤・海洋	▲14		1	▲8	4	▲17
産業システム・汎用機械	8	16	3	▲23	10	14
航空・宇宙・防衛	73	106	65	▲3	67	308
報告セグメント計	56	155	80	▲36	87	342
その他	6	5			▲44	▲33
調整額	▲8			▲87	321	226
合計	54	160	80	▲123	364	535

報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

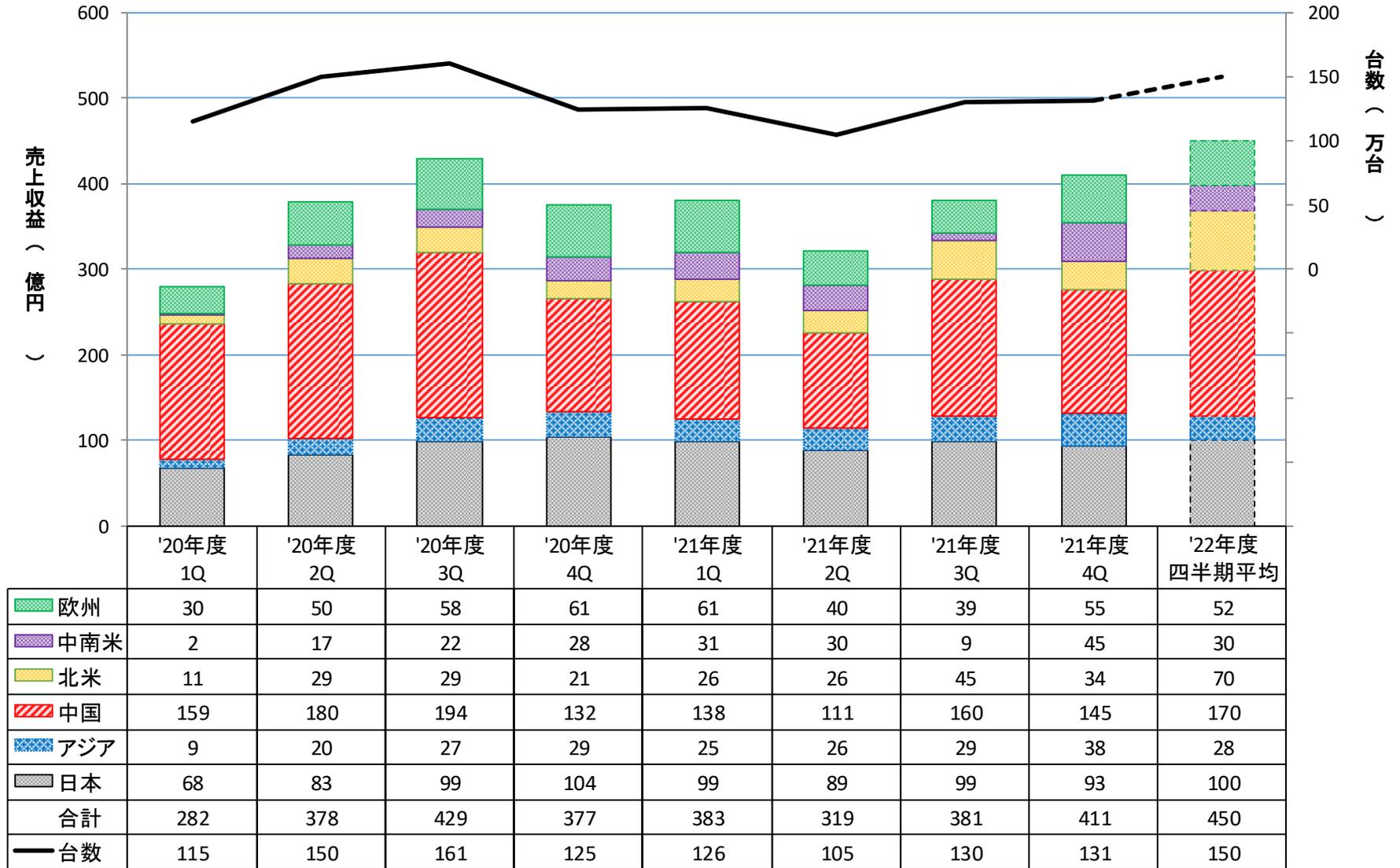
1. 2021年度 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)

旅客運航需要は引き続き緩やかに回復しており、スペアパーツの取扱高も回復傾向が継続。



1. 2021年度 連結決算 報告セグメント別内訳(車両過給機の状況)

車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



自動車減産の影響からの回復遅れに加え、足元は中国におけるロックダウンの影響が顕在化。

1. 2021年度 連結決算 金融損益等

(億円)

	'20年度	'21年度	増 減
為替差損益	34	75	40
持分法による投資損益	▲19	11	31
その他の金融損益	▲18	▲25	▲7
金融損益等	▲3	61	64

期末日レートの変動(米ドル) '20年度 +1.82円 (期首108.83円→期末110.65円)
 '21年度 +11.74円 (期首110.65円→期末122.39円)

1. 2021年度 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'20年度末	'21年度末	増減
資産合計	18,328	18,796	467
(うち 現金及び現金同等物)	(1,207)	(1,454)	(247)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,563)	(4,745)	(181)
(うち 棚卸資産)	(3,264)	(3,401)	(136)
負債合計	15,051	14,726	▲ 325
(うち 営業債務等)	(2,344)	(2,354)	(9)
(うち 契約負債)	(1,658)	(2,147)	(489)
(うち 有利子負債残高)	(6,059)	(5,055)	(▲ 1,003)
社債及び借入金	(4,631)	(3,722)	(▲ 909)
リース負債(※1)	(1,428)	(1,333)	(▲ 94)
資本合計	3,277	4,070	793
親会社の所有者に帰属する持分	3,007	3,821	813
非支配持分	269	249	▲ 20
負債・資本合計	18,328	18,796	467
D/Eレシオ(※2)	1.85倍	1.24倍	▲ 0.61倍
親会社所有者帰属持分比率(※3)	16.4%	20.3%	3.9%
ROIC(※4)	2.2%	6.4%	4.2%
CCC(※5)	124日	112日	▲ 12日

(※1) 日本基準におけるオペレーティング・リース相当の負債('20年度末:1,119億円, '21年度末:1,073億円)を含んでいる。

(※2) D/Eレシオ=有利子負債/資本合計 (※3) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分/負債・資本合計

(※4) ROIC=(営業利益+受取利息・配当金)税引後/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

(※5) CCC: 運転資本/売上収益×365日

1. 2021年度 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'20年度	'21年度	増 減
税引前当期利益	276	876	600
減価償却費(※1)	698	675	▲23
運転資本増減(※2)	▲560	230	790
その他	▲50	(※3) ▲640	▲589
営業キャッシュ・フロー	363	700 1,141	441 777
投資キャッシュ・フロー	▲404	0 279	279 684
フリーキャッシュ・フロー	▲41	700 1,420	720 1,461
財務キャッシュ・フロー	▲237	▲1,214	▲977

数表左上数値：2022年2月8日公表の業績予想数値。

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

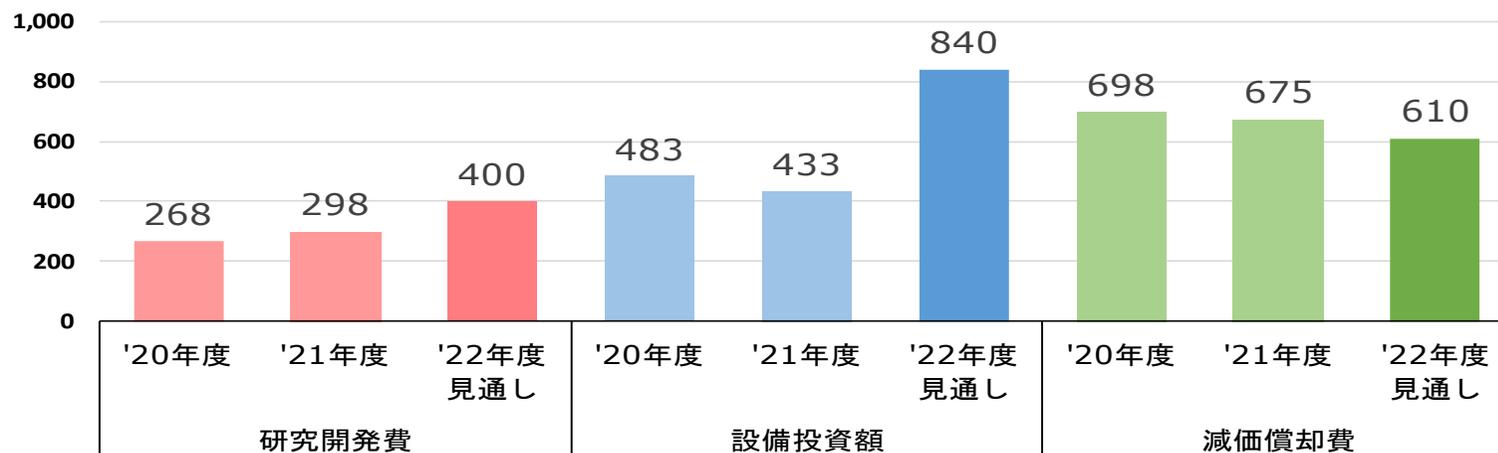
運転資本＝営業債権+契約資産+棚卸資産+前払金-契約負債-営業債務-返金負債

(※3)保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額を含む。

1. 2021年度 連結決算 補足資料

(1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費

(億円)



設備投資額, 減価償却費は, 有形固定資産, 投資不動産, 使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益

(億円)

	'20年度	'21年度
日本	6,989	6,773
アジア	1,189	1,641
中国	995	879
北米	1,261	1,539
中南米	85	134
欧州	528	670
その他	79	89
合計	11,129	11,729

(3) 報告セグメント別 資産残高

(億円)

	資産残高		
	'20年度末	'21年度末	増減
資源・エネルギー・環境	2,934	3,001	66
社会基盤・海洋	2,989	2,909	▲79
産業システム・汎用機械	3,355	3,297	▲58
航空・宇宙・防衛	6,928	7,163	234
報告セグメント計	16,208	16,371	163
その他	1,776	1,841	64
調整額	344	584	239
合計	18,328	18,796	467

2. 2022年度 連結業績見通し

2. 2022年度 連結業績見通し 通期業績見通し

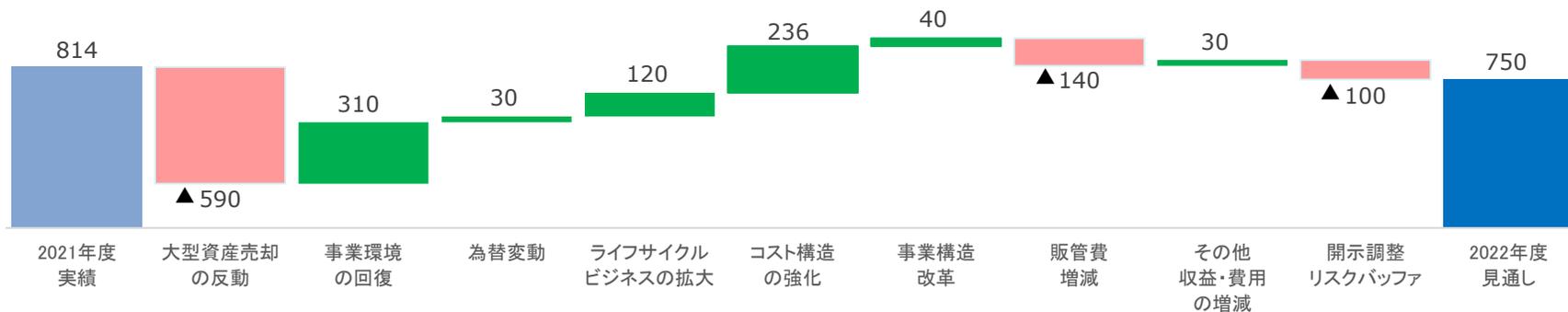
前提為替レート 米ドル 115円

(億円)

	'21年度 実績	'22年度 見通し	増 減
受 注 高	12,612	12,800	187
売 上 収 益	11,729	13,000	1,270
営 業 利 益	814	750	▲ 64
税引前当期利益	876	650	▲ 226
親会社の所有者に 帰属する当期利益	660	400	▲ 260

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 12億円

営業利益 前年度比増減要因



配当見通し 1株あたり 80円(中間 40円, 期末 40円)

2. 2022年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'21年度 実績	'22年度 見通し	増減
資源・エネルギー・環境	3,738	3,400	▲338
社会基盤・海洋	1,810	1,700	▲110
産業システム・汎用機械	3,845	4,400	554
航空・宇宙・防衛	3,047	3,300	252
報告セグメント計	12,441	12,800	358
その他	547	500	▲47
調整額	▲376	▲500	▲123
合計	12,612	12,800	187

2. 2022年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)

IHI

(億円)

	売上収益			営業利益		
	'21年度実績	'22年度見通し	増減	'21年度実績	'22年度見通し	増減
資源・エネルギー・環境	3,444	3,600	155	229	260	30
社会基盤・海洋	1,673	1,700	26	153	170	16
産業システム・汎用機械	3,769	4,300	530	128	270	141
航空・宇宙・防衛	2,652	3,400	747	▲93	300	393
報告セグメント計	11,540	13,000	1,459	418	1,000	581
その他	627	500	▲127	▲10	20	30
調整額	▲439	▲500	▲60	406	▲270	▲676
合計	11,729	13,000	1,270	814	750	▲64

2. 2022年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(営業利益の前年度比増減要因)

- 産業システム・汎用機械は、ライフサイクルビジネスの拡大や車両過給機を中心とした事業環境の回復と、損益分岐点の引き下げなどのコスト構造強化の両輪で増収増益。
- 航空・宇宙・防衛は、民間向け航空エンジンのスペアパーツ販売増加や生産性改善により増収増益、黒字化。

(億円)

	売上収益の増減	工事採算の変動	為替の変動	販管費の変動	その他損益の増減	合計
資源・エネルギー・環境	50	20		▲ 40		30
社会基盤・海洋		16		▲ 10	10	16
産業システム・汎用機械	80	51		▲ 30	40	141
航空・宇宙・防衛	310	144	30	▲ 30	▲ 60	393
報告セグメント計	440	231	30	▲ 110	▲ 10	581
その他	▲ 10			▲ 10	50	30
調整額		4		▲ 20	▲ 660	▲ 676
合計	430	235	30	▲ 140	▲ 620	▲ 64

2. 2022年度 連結業績見通し 連結キャッシュ・フロー 通期見通し

- 売上規模拡大の中でも棚卸資産圧縮などにより運転資本増加を抑え、2021年度を上回る営業キャッシュ・フローを確保。
 - 成長事業の創出に向けた投資を加速。
- (億円)

	'21年度 実績	'22年度 見通し	増 減
税引前当期利益	876	650	▲226
減価償却費(※1)	675	610	▲65
運転資本増減(※2)	230	0	▲230
その他	▲640	40	680
営業キャッシュ・フロー	1,141	1,300	158
投資キャッシュ・フロー	279	▲900	▲1,179
フリー・キャッシュ・フロー	1,420	400	▲1,020

(※1)減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

(※2)運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本＝営業債権＋契約資産＋棚卸資産＋前払金－契約負債－営業債務－返金負債

3. 報告セグメント別の概況

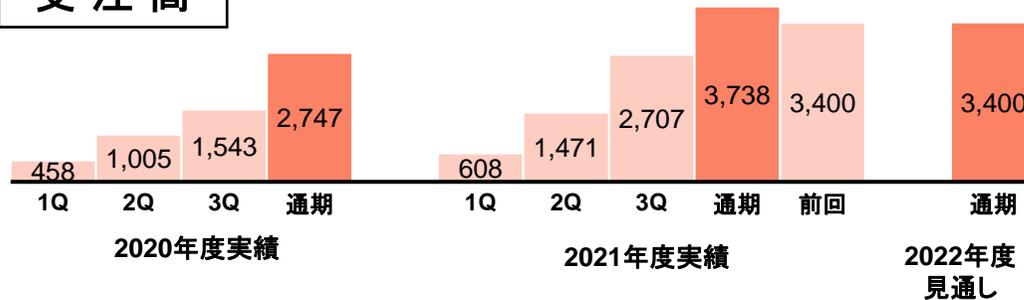
3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

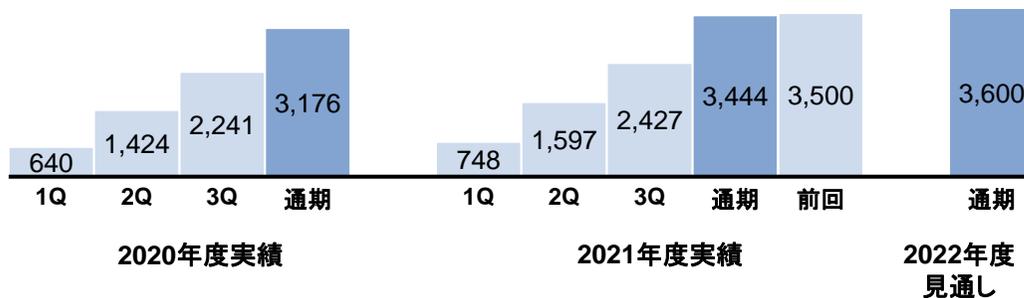
前回: 2022年2月8日公表の業績予想数値

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

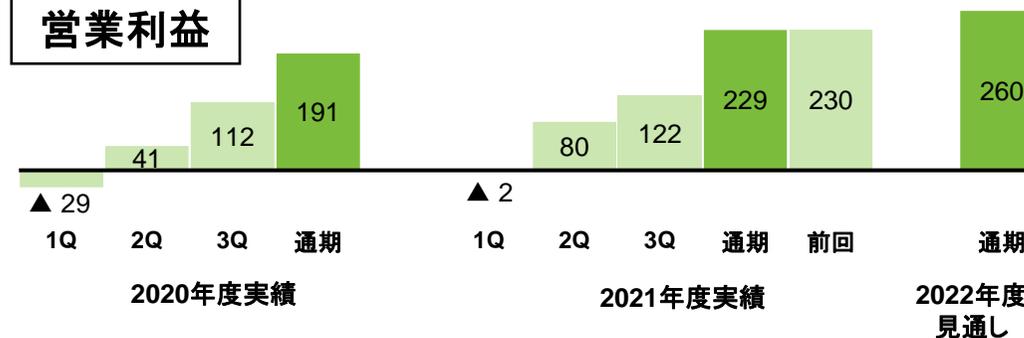
受注高



売上収益



営業利益



'21年度実績(対'20年度実績)

【受注高】

カーボンソリューションや原子力, 原動機で増加。

【売上収益】

原子力などで増収。

【営業利益】

カーボンソリューションや原動機での採算改善に加え, 原子力の増収により増益。

'22年度見通し(対'21年度実績)

- 受注高は, 原子力で減少。
- 売上収益・営業利益は, カーボンソリューションや原子力における, ライフサイクルビジネス拡大により増収増益。

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高									売上収益								
	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	
原 動 機	190	352	505	719	255	414	604	846	860	188	383	611	871	186	384	610	889	870
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン (※)	135	273	466	1,199	154	622	1,156	1,591	1,730	330	787	1,192	1,594	352	764	1,129	1,558	1,630
原 子 力	91	153	272	426	104	269	584	707	370	45	100	181	327	60	163	280	453	740

※2021年度のSBU再編に合わせて、2020年度の実績を組み替えています。

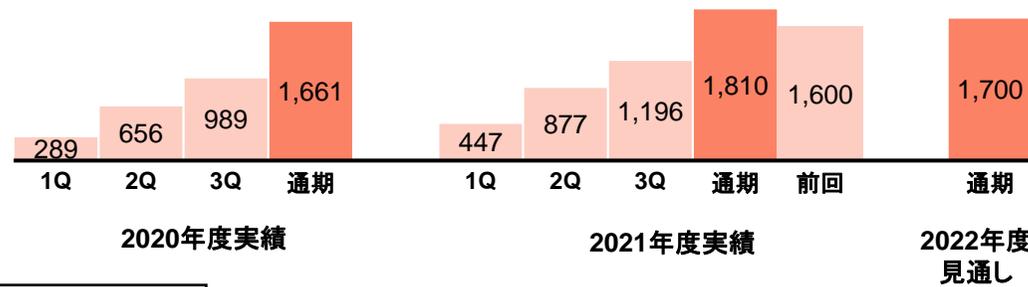
3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

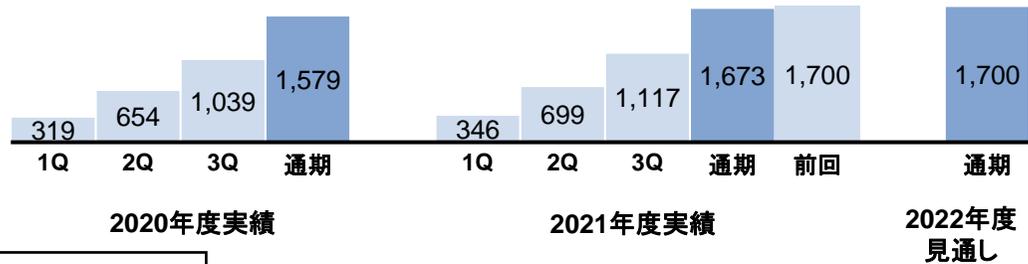
前回: 2022年2月8日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,
交通システム, コンクリート建材

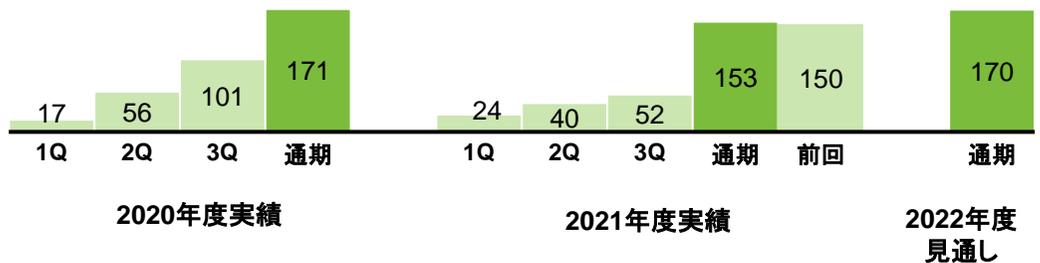
受注高



売上収益



営業利益



'21年度実績(対'20年度実績)

【受注高】

橋梁・水門で増加。

【売上収益】

都市開発で不動産販売が減少したものの、橋梁・水門やシールドシステムで増収。

【営業利益】

増収による増益はあったものの、不動産販売減少、橋梁・水門での鋼材価格や海上輸送費の高騰の影響により減益。

'22年度見通し(対'21年度実績)

- 受注高は、橋梁・水門や交通システムで減少。
- 売上収益・営業利益は、橋梁・水門における保全工事の増加や海外プロジェクト管理徹底によるコスト構造強化により増収増益。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高									売上収益								
	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	
橋梁・水門	111	299	437	793	312	614	806	1,109	920	151	312	494	768	178	336	555	896	1,020
シールドシステム	47	73	96	217	12	44	86	146	320	35	91	123	194	58	120	175	227	210
都市開発	65	127	189	239	46	94	141	184	170	66	114	189	239	46	96	140	186	170

※「都市開発」の豊洲地区関連情報は、＜参考資料＞都市開発を参照。

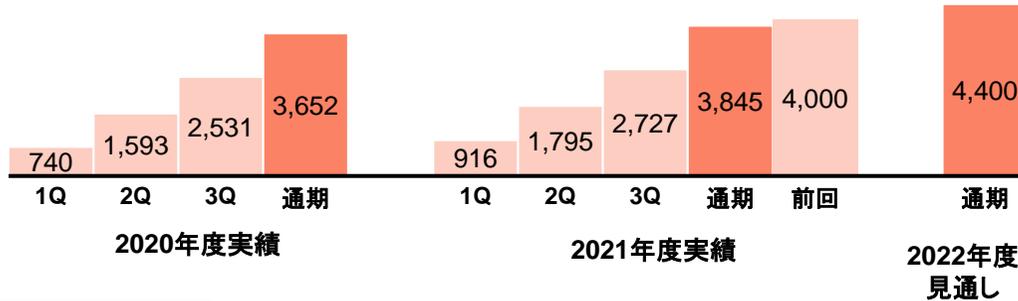
3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

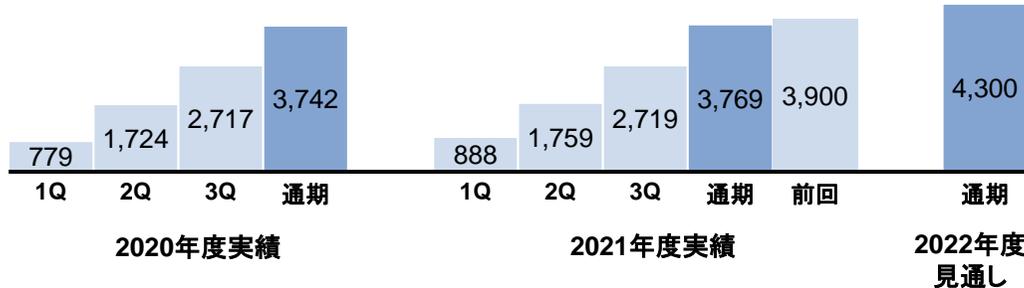
前回: 2022年2月8日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

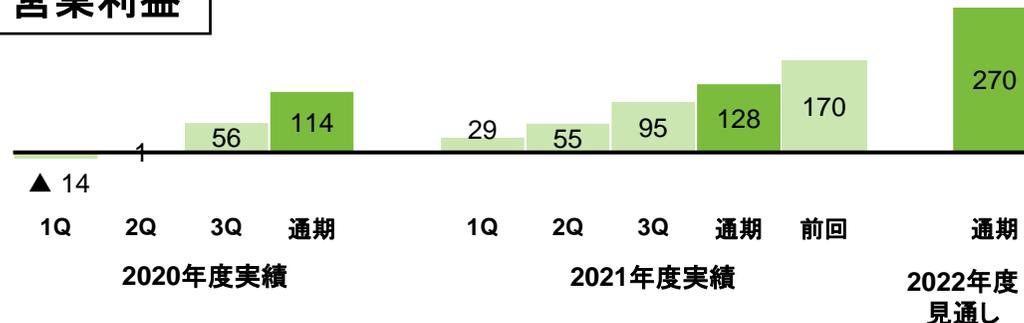
受注高



売上収益



営業利益



'21年度実績(対'20年度実績)

【受注高】

熱・表面処理や回転機械で増加。

【売上収益】

運搬機械で減収となったものの、熱・表面処理や回転機械で増収。

【営業利益】

車両過給機において構造改革費用を計上したものの、上記の増収および採算改善に加え、前年度に農機事業で構造改革費用を計上した影響により増益。

'22年度見通し(対'21年度実績)

- 受注高は、車両過給機で増加。
- 売上収益・営業利益は、ライフサイクルビジネスの拡大や車両過給機を中心とした事業環境の回復と、損益分岐点の引き下げなどに加え、前年度に構造改革費用を計上した影響により増収増益。

(億円)

	受注高										売上収益									
	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)		
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期			
車両過給機	283	662	1,089	1,469	386	714	1,100	1,518	1,800	282	660	1,089	1,466	383	702	1,083	1,494	1,800		
パーキング	102	218	342	502	106	229	333	524	540	93	205	335	460	91	196	319	472	550		
回転機械	120	232	335	466	136	267	391	559	580	103	230	360	497	119	237	376	527	560		
熱・表面処理	56	118	193	298	107	209	326	435	450	67	137	214	304	87	186	285	396	430		
運搬機械	49	83	121	296	41	97	135	230	320	102	197	291	400	73	164	242	310	330		

※「車両過給機」の詳細は、＜参考資料＞車両過給機を参照。

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	通期
2020年度実績	551
2021年度実績	492
2022年度見通し	600

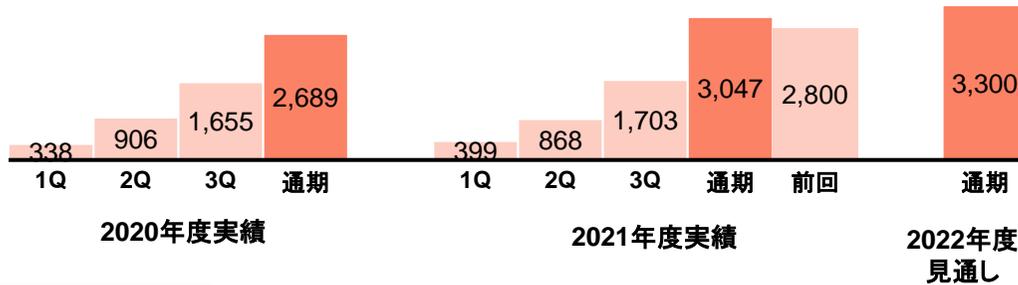
3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

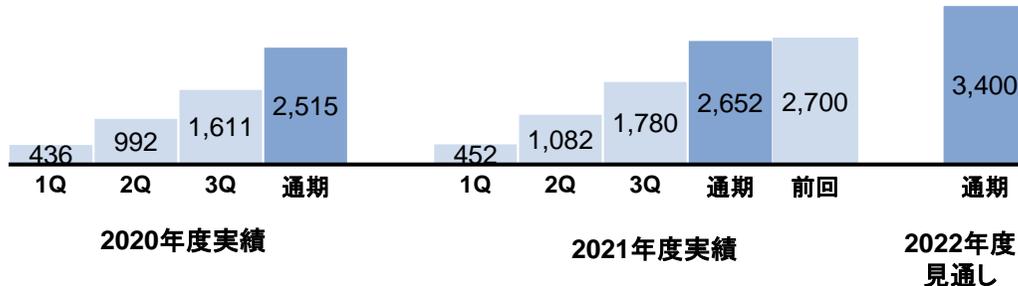
前回: 2022年2月8日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用
防衛機器システム

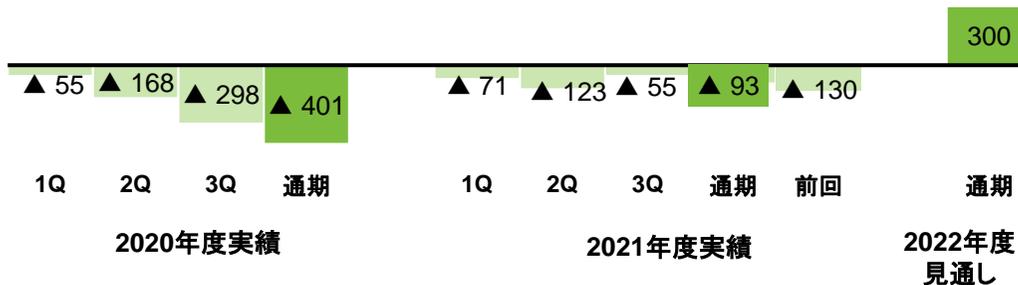
受注高



売上収益



営業利益



'21年度実績(対'20年度実績)

【受注高】

民間向け航空エンジンで増加。

【売上収益】

民間向け航空エンジンで、本体・スペアパーツの販売が増加したことにより増収。

【営業利益】

民間向け航空エンジンでの、スペアパーツの販売増加や総費用削減などのコスト構造強化に加え、為替が円安に推移したことにより、赤字幅が縮小。

'22年度見通し(対'21年度実績)

- 受注高は、民間向け航空エンジンで増加。
- 売上収益・営業利益は、民間向け航空エンジンでの、スペアパーツ販売増加や生産性改善により増収増益・黒字化。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高										売上収益								
	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)	'20年度				'21年度				'22年度 通期 (見通し)	
	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	3Q累計	通期		
民間向け 航空エンジン	215	443	724	1,008	257	535	899	1,219	1,950	207	451	735	1,017	256	540	911	1,233	1,930	

※「民間向け航空エンジン」の詳細は、＜参考資料＞航空エンジンを参照

＜民間向け航空エンジンの販売台数＞

(台)

販売年度	通期
2020年度実績	842
2021年度実績	789
2022年度見通し	1,072

< 参考資料 >

- ・当第4四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

インド火力発電所におけるアンモニア混焼・専焼を見据え、技術的検討および経済性の検証を開始



インド民間最大手の発電事業会社Adani Power Ltd. (以下「APL」)および興和株式会社と共同で、インド国内の石炭火力からのCO₂排出量削減を目指し、APL所有のAdani Power Mundra 石炭火力発電所へのアンモニア混焼の適用技術および経済性の検証を行なう基本合意書に調印しました。

当該発電所における既設石炭焚きボイラへのアンモニア20%混焼の実施を前提とした各種技術検討等を行なうとともに、将来の専焼に向けた検討と議論を行なっていきます。

<Adani Power Mundra石炭火力発電所(左図)>

オーストラリアでカーボンフリー水素の製造・販売を目指す「コーガン水素実証プロジェクト」のデモプラント建設工事を受注

クィーンズランド州営電力会社であるCS Energyから「コーガン水素実証プロジェクト」におけるデモプラントの設計・調達・建設業務を受注しました。

「コーガン水素実証プロジェクト」は、太陽光の再エネ電力からカーボンフリー水素を製造し販売するとともに、余剰の再エネを電力市場に販売することを目指すものです。

2018年に福島県相馬市に開設した「そうまIHIグリーンエネルギーセンター」における開発・運用で培った知見を活かし、本デモプラントの建設を通じてCS Energyとともにオーストラリアにおける脱炭素化をリードしていきます。



<プラントイメージ(右図)>

米国最大規模の太陽光発電設備向けエネルギー貯蔵システム、エネルギー・マネジメント・システムを受注



米国子会社であるIHI Terrasun Solutions, Inc. (以下「Terrasun」)は、米大手発電会社であるPrimergy Solar LLCより、米国最大規模の太陽光発電・エネルギー貯蔵システムで構成されるGeminiプロジェクトにおいて、蓄電池を含めたエネルギー貯蔵システムと、発電設備全体の同時制御を行なうエネルギー・マネジメント・システム(以下「EMS」)を、受注しました。

Terrasunは、太陽光発電設備から供給される余剰分の電気を捨てることなく蓄電池に効率よく貯める技術を採用し、各機器を制御するEMS全体を担当します。また、25年間にわたり、エネルギー貯蔵システムの保守・点検・メンテナンス等を行なう長期ライフサイクルサービスを提供します。

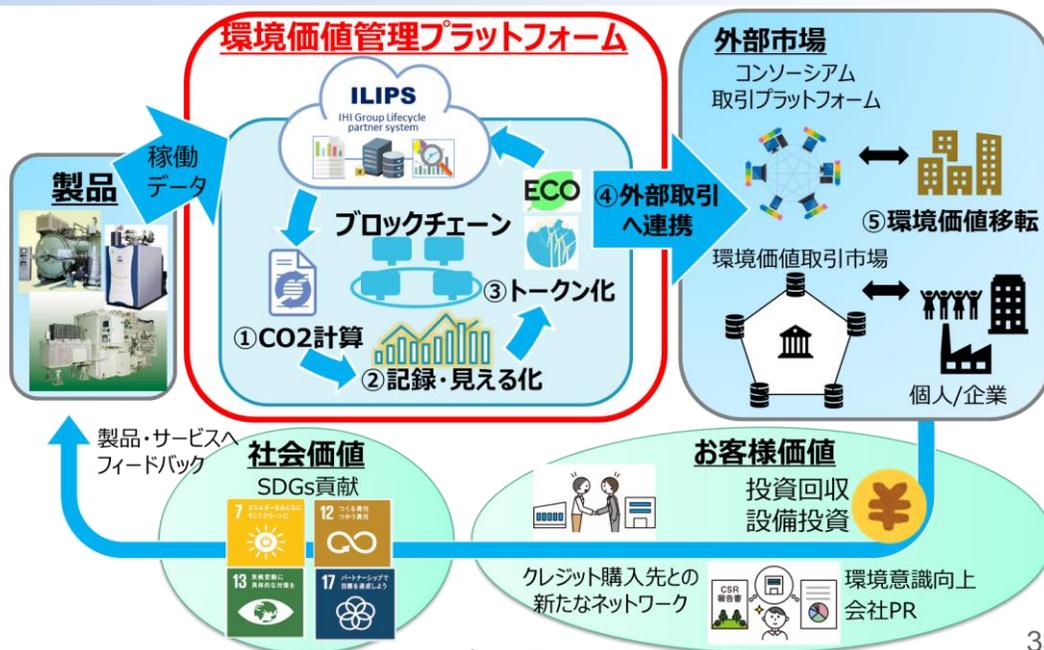
<太陽光発電・エネルギー貯蔵システム(左図)>

CO₂排出/削減量を管理・環境価値化するデジタルプラットフォームを構築・実装開始 ～ブロックチェーン技術を活用し、外部市場へ流通可能に～

お客さまを繋ぐIoT基盤であるILIPS (IHI group Lifecycle Partner System)に環境価値管理機能を実装しました。

本仕組みでは、ILIPSクラウドに蓄積された稼働データから、自動で従来のCO₂の排出量および削減量をブロックチェーン上で計算し、記録・見える化します。さらに、創出したCO₂削減量を、環境価値としてトークン(デジタル証明書)化し、外部へ連携する機能を実装しました。

この仕組みを活用し、削減したCO₂をクレジット取引・変換することにより、お客さまの投資回収やさらなる設備投資を進め、脱炭素社会実現に向けた活動を推進します。



<概要図>

主要な経営指標の推移

	日本基準			
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円	13,739億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円	13,865億円
営業利益	473億円	722億円	824億円	607億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円	128億円
営業CF	653億円	990億円	464億円	145億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 758億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円	▲ 613億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%	5.7%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%	4.4%
CCC	87日	83日	97日	120日
D/Eレシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍	1.38倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%	3.8%
親会社所有者帰属 持分比率	18.8%	19.9%	21.0%	18.7%

IFRS			
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (見通し)
12,800億円	10,970億円	12,612億円	12,800億円
12,631億円	11,129億円	11,729億円	13,000億円
478億円	279億円	814億円	750億円
82億円	130億円	660億円	400億円
424億円	363億円	1,141億円	1,300億円
▲ 855億円	▲ 404億円	279億円	▲ 900億円
▲ 430億円	▲ 41億円	1,420億円	400億円
50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	70円/株 (中間30円、 期末40円)	80円/株 (中間40円、 期末40円)
4.1%	2.2%	6.4%	6.0%
3.8%	2.5%	6.9%	5.8%
92日	124日	112日	99日
2.00倍	1.85倍	1.24倍	1.09倍
2.8%	4.5%	19.3%	10.2%
15.0%	16.4%	20.3%	22.5%

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本合計

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準								IFRS			主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	
売上収益(億円)	1,436	1,698	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	1,233	
累計販売台数(台)												
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,756	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,925	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,926	リージョナルジェット (70~110席級)
GEEx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,425	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,585	エアバス A320Neo
Passport20							13	66	142	202	269	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,886	

※販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

地域別売上収益・販売台数推移

(億円)

	日本基準							IFRS				
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22 見通し	
日本	339	353	375	346	389	398	446	391	354	380	400	
アジア	248	298	275	216	158	117	110	107	85	118	110	
中国	181	234	243	249	485	719	631	572	665	554	680	
北米	13	16	18	24	33	84	116	108	90	131	280	
中南米	0	0	7	34	61	74	75	66	69	115	120	
欧州	432	602	756	743	617	811	513	289	199	195	210	
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	
合計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	1,494	1,800	
販売台数(万台)	518	554	589	536	610	790	676	600	551	492	600	

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績										見通し
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22年度 通期
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94	123	121	121

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'21年度	121	52	46	22

(3) 豊洲地区 投資不動産の期末公正価値等

(億円)

	連結財政状態計算書計上額			期末公正価値	期末公正価値 －期末残高
	期首残高	期中増減額	期末残高		
'21年度	1,026	▲ 30	996	2,261	1,265

注1: 連結財政状態計算書計上額は、取得原価から減価償却累計額および減損損失累計額を控除した金額。

2: 期末公正価値は、主として社外の不動産鑑定士による不動産調査報告書に基づいて算定した金額。

豊洲1~3丁目地区 開発マップ

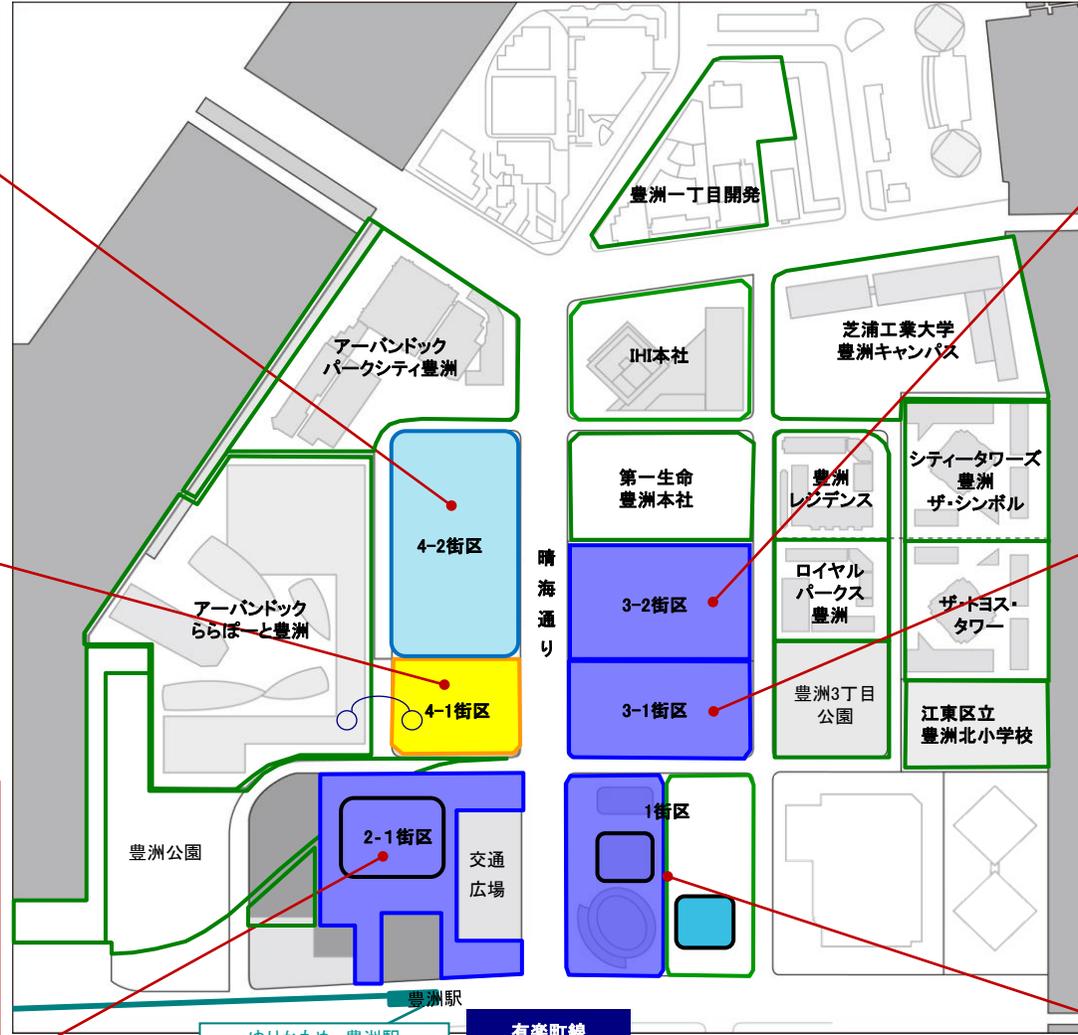
豊洲4-2街区開発計画
敷地面積: 19,493㎡
2022年夏着工～2025年夏竣工予定

アーバンドック ららぽーと豊洲ANEX
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡
2006年10月開業

豊洲ベイサイドクロスタワー (AC棟)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年3月竣工

A棟

C棟



豊洲フォレシア
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡
2014年7月竣工

豊洲フロント
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡
2010年8月竣工

豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡
2006年8月竣工

豊洲センタービル
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡
1992年10月竣工

豊洲センタービル

同アネックス

IHI所有地	約5ha
--------	------

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 開発中
- 売却・寄付・交換済

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。